

日本製鐵從業員組合並に日本産業労働協進  
組合合同大会状況

兩組合の合同に就いては既報（報告第四〇五號）の如く豫定通り七月二十四日合同大会を舉行した、合同大会は兩組合本部役員並に組合支部長のみで開催し、僅に四十分間の題スピードで左記議題の通り一言の質問も反對もなく議論抜きの一瀉千里式に決定したので、結局日鐵從業員組合綱領一部の變更に止まり、規約、組合名、組合事務所等は日鐵の天れを其の儘に踏襲し役員は當分兩組合役員を新組合役員として行くことになつて、組合員並に一般製鐵從業員に對しては即日二萬枚の聲明書を配布した何れ近く年次大会を開催する筈。

- 一、日 時 昭和十年七月二十四日 自午後六時三十分至同七時十分
- 二、會 場 八幡市埴子町一丁目 日鐵從業員組合事務所

三、参加者 七〇名（本部員並支部長）  
四、スローガン

- 単一労働組合確立萬歳！
  - 産業協力運動のため闘へ！
  - 職夫の職工採用を徹底せよ！
  - 産業戦線を攪亂する左翼及反動ファッショを撃滅せよ！
- 五、大会内容

- 1、開會の辭 司會者 日鐵副組合長 土佐野 愛藏  
今日産製鐵所に労働組合が二つあつた、これではどうしても不利の點が多い、多年希氣してゐた事が組合員の非常なる努力に依り今日合同するに至つた事を喜ぶ、組合發展の爲向一層の努力を願ふ。
- 2、議長選舉（司會者一任）